



**松谷化学工業、国際希少糖学会第5回国際シンポジウムで
希少糖「D-プシコース」と希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」の最新研究成果を発表
香川が生んだ新しい糖質「希少糖」の多彩で優れた機能性についての臨床結果を解説**

松谷化学は、当社研究所の希少糖(レアシュガー)研究チームが、2011年11月9日～12日、香川県高松市で開催される国際希少糖学会第5回国際シンポジウムにおいて、希少糖の一つである「D-プシコース」、また、当社と株式会社希少糖生産技術研究所が開発した希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」についての解説や最新の研究成果について発表します。

国際希少糖学会第5回国際シンポジウムは、2011年11月9日から12日まで香川県で開催されます。11月9日、10日はかがわ国際会議場(香川県高松市サンポート高松)で、11日は香川大学農学部(香川県三木町池戸)で、また、12日は、「希少糖エキスポ」として、一般の方も自由に参加できるイベントが三木町希少糖研究研修センター(香川県三木町小菘)で行われます。

松谷化学による国際希少糖学会第5回国際シンポジウムでの発表予定内容については下記となります。

[発表予定]

- ① 希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」の製造法と性質について 発表者: 高峰 啓 (研究所)
- ② 特定保健用食品申請を通じた機能性食品としてのD-プシコースの開発 発表者: 飯田 哲郎 (研究所)
- ③ 「レアシュガースウィート」の人での長期摂取試験 発表者: 林 範子 (研究所)
- ④ 希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」の製造法とラットにおける内臓脂肪蓄積抑制効果
発表者: プシバ・キラン・グラッパリ (研究所)

国際希少糖学会について (<http://isrs.kagawa-u.ac.jp/indexjp.html>)

国際希少糖学会は、希少糖研究を香川県から発信するため2001年に設立され、香川大学内に本部が置かれています。2002年5月には、第1回国際シンポジウムが開催されました。学会設立10年目を迎えた今年開催される第5回国際シンポジウムでは、希少糖研究の10年を振り返るとともに今後10年を展望します。

希少糖と希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」

松谷化学は、2004年以来、香川大学と共同で新たな自然の糖である「希少糖」(レアシュガー)の研究を行ってきました。希少糖は、自然界に微量しか無い、希少な単糖ですが種類は多く、50種以上存在します。近年、香川大学ほか研究機関による希少糖の大量生産技術の確立により研究が進み、様々な生理活性が発見されました。特に、希少糖の一種である、ノンカロリーで甘味度は砂糖の7割程度の「D-プシコース」には、食後血糖上昇抑制作用、内臓脂肪蓄積抑制作用が認められています。また、「D-アロース」には抗酸化作用、血圧低下作用などの生理活性があり、医薬品や機能性食品あるいは化粧品などへの応用開発が進められています。

2010年、松谷化学と(株)希少糖生産技術研究所は、D-プシコース、D-アロースなどの希少糖を含む希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」の製造の開発に世界で初めて成功しました。また、これまでの香川大学との研究調査により、希少糖含有シロップが脂肪蓄積抑制効果や糖代謝改善作用などへの効果を持つことが報告されており、肥満予防などメタボリックシンドロームに対する効果が期待されています。

従来の異性化糖は、砂糖資源の乏しい日本で、砂糖の代替甘味料として開発された優れた甘味料です。しかし近年、異性化糖の消費増加が肥満の発症に関与しているという報告が世界的に数多く見られ、大きな問題となっています。

松谷化学では、様々な希少糖に関する研究を進めており、希少糖の抗肥満、抗糖尿病、抗動脈硬化などをはじめとする様々な作用を解明し、人類への大きな寄与が期待される希少糖の普及へ向けてこれからも、一層の努力を続けます。